

哲學研究

第九卷第二冊

第九十五號

大正三十三年二月一日發行

無我論……………文學士 手島 文 蒼

カント體系の所謂缺陷問題……………文學士 平 田 元 吉

Hegel の Phänomenologie……………文學士 三 土 興 三

新著紹介……………

京都市大學文學部

京都哲學會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會エ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學士	植田	壽藏
文學博士	狩野	直喜
文學博士	小西	重直
文學士	高坂	正顯
文學士	澤村	專太
文學博士	高瀬	武次
文學博士	田邊	元成
文學博士	千葉	胤成
文學博士	朝永	三十郎
文學博士	西田	幾多郎
文學博士	野上	俊夫
文學博士	波多	野精一
文學博士	深田	康算
文學博士	藤井	健治郎
文學博士	松本	文三郎
文學士	務臺	理作
文學博士	米田	庄太郎

前 號 目 次

文化教育學の出るまで(完).....	カントとシュライエルマツヘル(承前).....	文學士 長 田 新
自由の可能に就て.....	シルラーが美學上の功績(完).....	文學士 勝 部 謙 造
彙報、其他.....		文學士 世 良 壽 男
		文學博士 深 田 康 算

供し人道に貢獻せんとする偉大なる抱負を有し、その旨意に従て神道、武士道、朱子學、陽明學、古學派、折衷學派獨立學派、及び水戸學派に現はれたる諸種の倫理思想を歴史的系統的に配列整頓し眞學なる念願を以て、凡ゆる階級の日本國民をして健全なる國民道德の理想を確立せしむる一助となし又其日常生活に於ける心の糧たらしめんとしてゐる。

著者が名だたる神道學者である丈に本書を通讀して最も權威を感じらるるのは第一に本論第一部神道思想の系統である。博士の別著歐米人の神道觀と共に本書第一部に繁く他の部にも疎に六號活字で散在してゐるロイス、ルヴァン、アームストロング、ペーテ、パートリン、ロイド、サトウ、プリンクリー、アストン、ノックス等日本學者の名々書名を極めて簡單ではあるが紹介されてる論旨とは單に好奇心を満足せしむるのみならず、新しい見方やその示唆を與へてくれる。本書の緒論は著者の相當骨折つた跡も見ゆるけれども、穩健着實なるを喜ぶべきではあるが、寧ろ結論の論旨がより多く吾人を引き附けるやうに思ふ。次に本論第二部以下の五號活字は凡て啓蒙書として最もその價值を發揮するやうに思はれる。そこには第一部に於けるが如き原典についての精確なる研究は比較的少くして明治大正年間に現はれた先覺者の勞作而もさもすれば誤謬を含蓄せる編纂物に據つて其の要を約した部分が多いやうに思はれる。

從て時として吾人の容易に首肯し得ざる點をも發見する。勿論これ丈廣い範圍の研究に於てさばかりの事は寧ろ當然であり、各

種の特色を有する博士の高著の眞價を害するものでないことはいふ迄もない。妄評多謝、(天地書房、三圓八十錢)——(加藤仁平)

寄贈書籍雜誌

教育と道德

文學博士西晉一郎著
東京 大村書店

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、日本心理學雜誌、東洋哲學、教育研究、内外教育評論、學校教育、教育、教育時論、教育界、藥王樹、三田文學、神學評論、信濃教育、講座。

告 會

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費（前表紙裏ニアリ）御納付ノ上御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内
京都哲學會
振替口座大阪參〇六六番

註 文 規 定

- 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- 振替貯金にて御送金は（振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番）内外出版株式會社宛に願上候
- 前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定 價

冊	數	定 價	郵 税
一冊	冊	金 四 拾 錢	金 壹 錢
六冊	冊	金 貳 圓 四 拾 錢	不 申
十二冊	冊	金 四 圓 八 拾 錢	不 申

廣 告 料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十三年一月廿五日印刷納本
大正十三年二月一日發行

第九十五號 第九卷 第二冊

京都帝國大學文學部内

編輯者 京都哲學會

右代表者 伊藤 猷 典

發行者 大谷 仁 兵 衛

印刷者 須磨 勘 兵 衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發 行 所

京都市下京區西洞院七條南
内外出版株式會社

振替口座 大阪三二九五番
東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南
出張所 京都市京橋區加賀町十番地
販賣所 京都市神田區錦町一ノ一
内外出版株式會社

賣 捌 所

(東京) 東京堂 東海堂 北隆館
(大阪) 上田屋 至誠堂
(神戸) 寶文館 三文社
(京都) 共盛社 大盛社

製複許不
載 轉 禁